

山本大臣閣議後会見

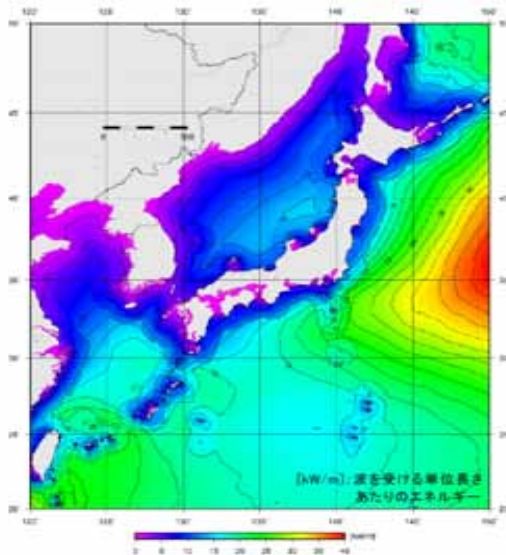
平成26年3月20日

海洋再生可能エネルギーの
「実証フィールド」の
整備について

我が国の海洋エネルギーのポテンシャル

- 我が国の周辺には、豊富な海洋再生可能エネルギーの存在が判明。
- 洋上風力の他にも、代表的な海洋エネルギーとしては、①波力、②潮流、③海流、④海洋温度差があり、研究開発が進んでいる。

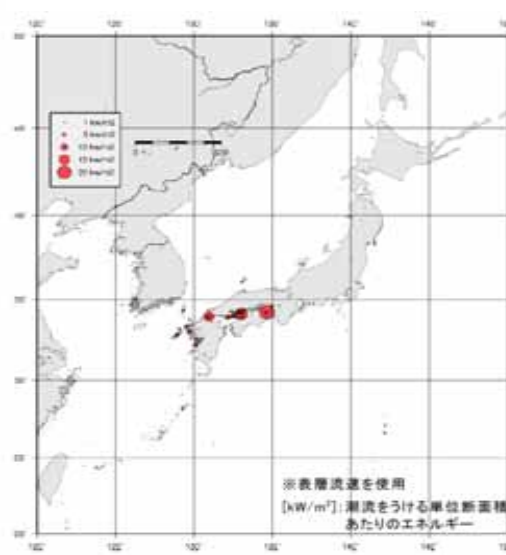
波力



代表的な場所:

- 関東～北海道の太平洋側
- 伊豆諸島 等々

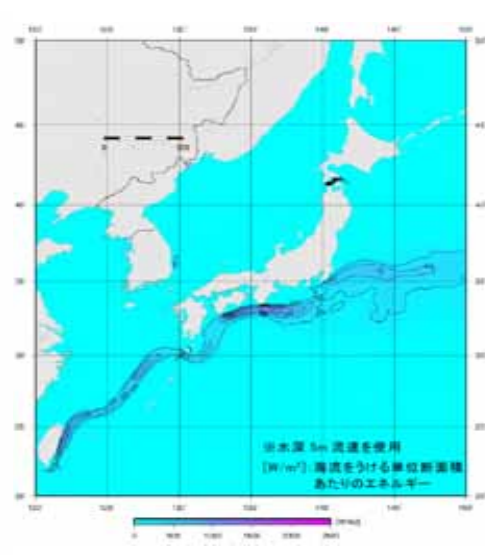
潮流



代表的な場所:

- 瀬戸内海
- 九州北西部の島嶼部 等々

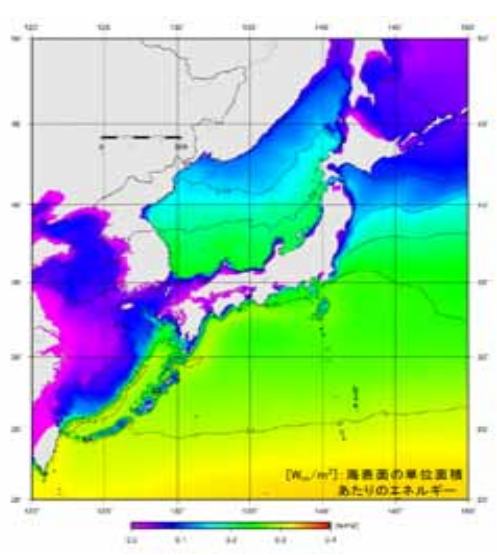
海流



代表的な場所:

- 西日本の太平洋側
- 津軽海峡 等々

海洋温度差

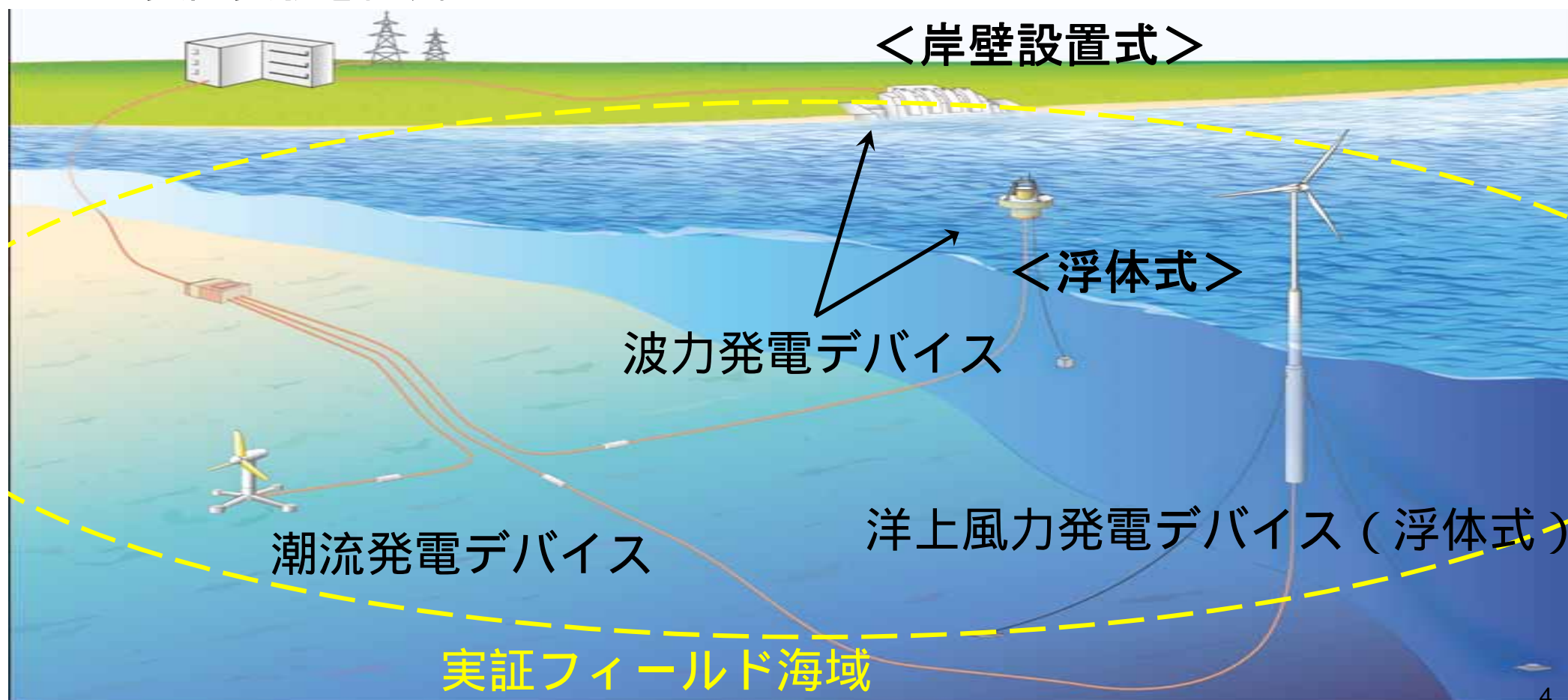


代表的な場所:

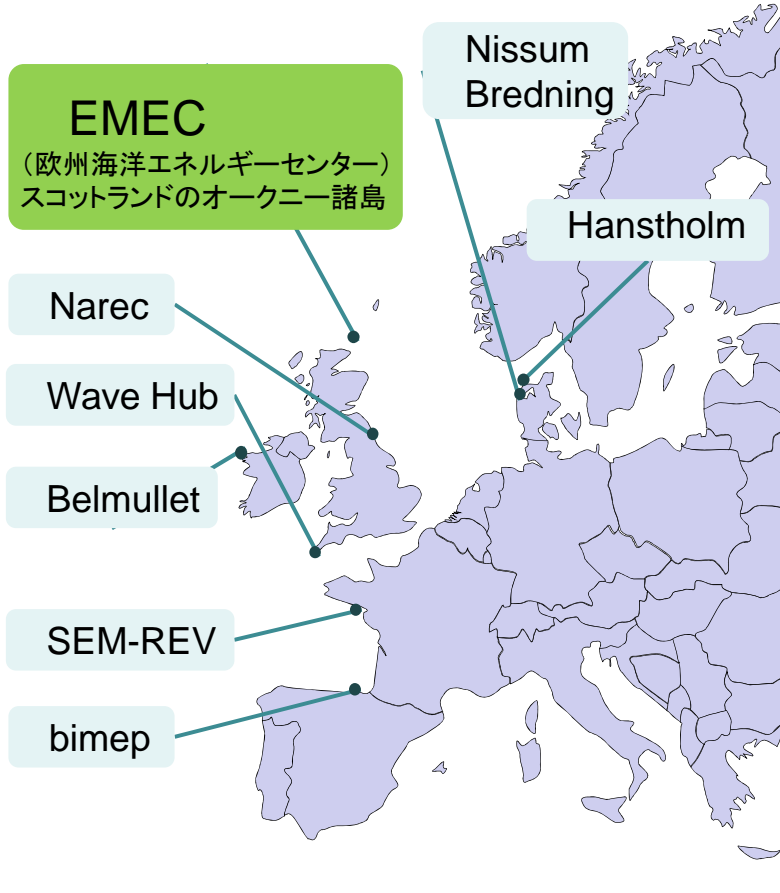
- 沖縄、奄美諸島
- 小笠原諸島 等々

「実証フィールド」とは

- 今後の実用化が期待される潮流や波力などの海洋エネルギーについて、一定のエリアを確保し、発電の実証実験を自由に行うことができる場所。
- メーカーや大学等の利用者は、自ら開発した発電デバイスを持ち込んで、実証実験を行う。



欧州の主な実証フィールドの状況



国名	名称	エネルギー
英国	EMEC	波力、潮流
	Narec	波力、潮流、洋上風力
	Wave Hub	波力
デンマーク	Nissum Bredning	波力
	Hanstholm	波力
フランス	SEM-REV	波力、洋上風力
アイルランド	Belmullet	波力
スペイン	bimep	波力

EMECで実証中の発電デバイスの例

波力発電



潮流発電



川崎重工業がEMECで潮流発電の実証実験を行うことを申込み中。

「海洋再生可能エネルギー利用促進に関する今後の取組方針」

平成24年5月25日
総合海洋政策本部決定

海洋再生可能エネルギー利用の重要性

- 福島原発事故後、再生可能エネルギー開発・利用の一層の加速が必要。
- 日本周辺海域の再生可能エネルギーを利用した発電技術の早期実用化が重要。

(1) 実用化に向けた技術開発の加速のための施策

- 「**実証フィールド**」の整備
 - 開発コストの低減、関連産業集積による地域経済の活性化等を図るため、「**実証フィールド**」を、順次、整備。
 - H24年度中に候補地の公募条件を公表、H25年度に最初の選定。
- 技術開発支援の充実と、他の関連施策との有機的な連携

(2) 実用化・事業化を促進するための施策

- 海域利用における関係者との調整のあり方
- 海洋構造物や発電機器の安全性の確保
- 適切な環境影響評価のあり方 他

「実証フィールド」の要件（主なもの）

平成25年3月12日

内閣官房総合海洋政策本部事務局

(1) 気象・海象条件、水深、海底地形等に関する事項

エネルギーの種類	気象・海象条件
浮体式洋上風力	高さ80mの風速で、月平均値で <u>7m/s以上</u> が年3ヵ月以上
波力	有義波高で、月平均値で <u>1.5m以上</u> が年3ヵ月以上
潮流	最大流速(大潮時)が <u>1.5m/s以上</u>
海洋温度差	温度差が、月平均値で <u>20度(摂氏)以上</u> が年3ヵ月以上
海流	平均流速が <u>1m/s以上</u>

(2) 航行安全、環境や景観の保全等に対する適切な配慮の観点に関する事項、他の海域利用者等との調整に関する事項

- 地元の利害関係者の了解が得られていること。
- 航行安全対策について関係者間で調整すること。
- 自然保護地域等と重複していないこと。

(3) 周辺のインフラ等に関する事項

(4) その他の事項

- 10年間以上の占有が可能。
- 利用者が複数見込まれること。

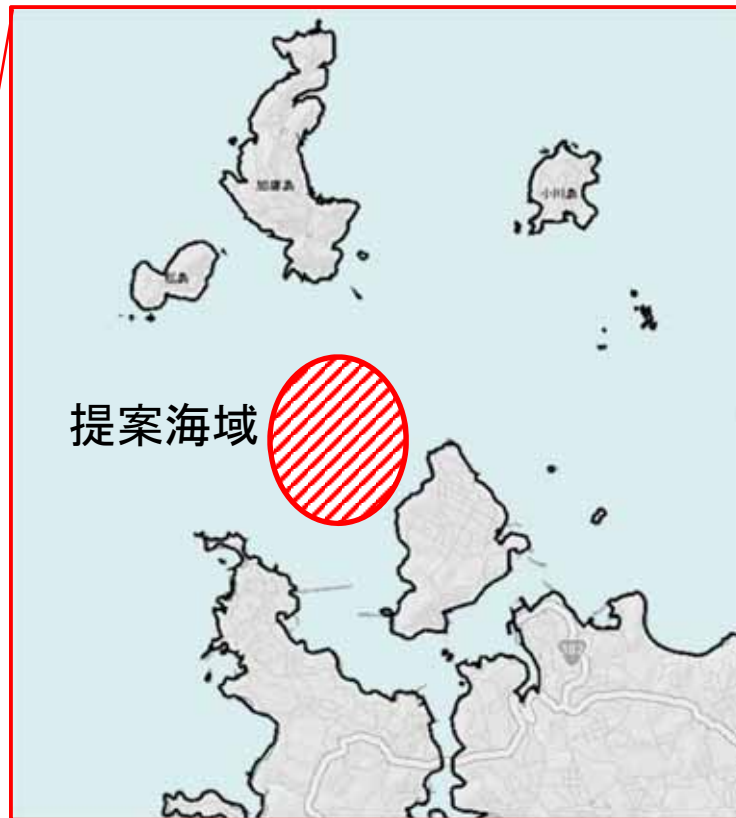
実証フィールドとして提案が上がった海域(7県、11海域)

都道府県	候補海域	エネルギーの種類
岩手県	釜石市沖	波力、洋上風力
新潟県	粟島浦村沖	海流(潮流)、波力、洋上風力
和歌山県	串本町 潮岬沖	海流
佐賀県	唐津市 加部島沖	潮流、洋上風力
長崎県	五島市 久賀島沖	潮流
	五島市 椀島沖	浮体風力
	西海市 江島・平島沖	潮流
鹿児島県	長島町 長島海峡	潮流
	十島村 口之島・中之島周辺	海流
沖縄県	久米島町	海洋温度差
	石垣島沖	波力



今後、有識者の意見も聴きながら、公平・公正に検討予定

佐賀県の提案海域



浮体式潮流・風力発電 (三井海洋科学)

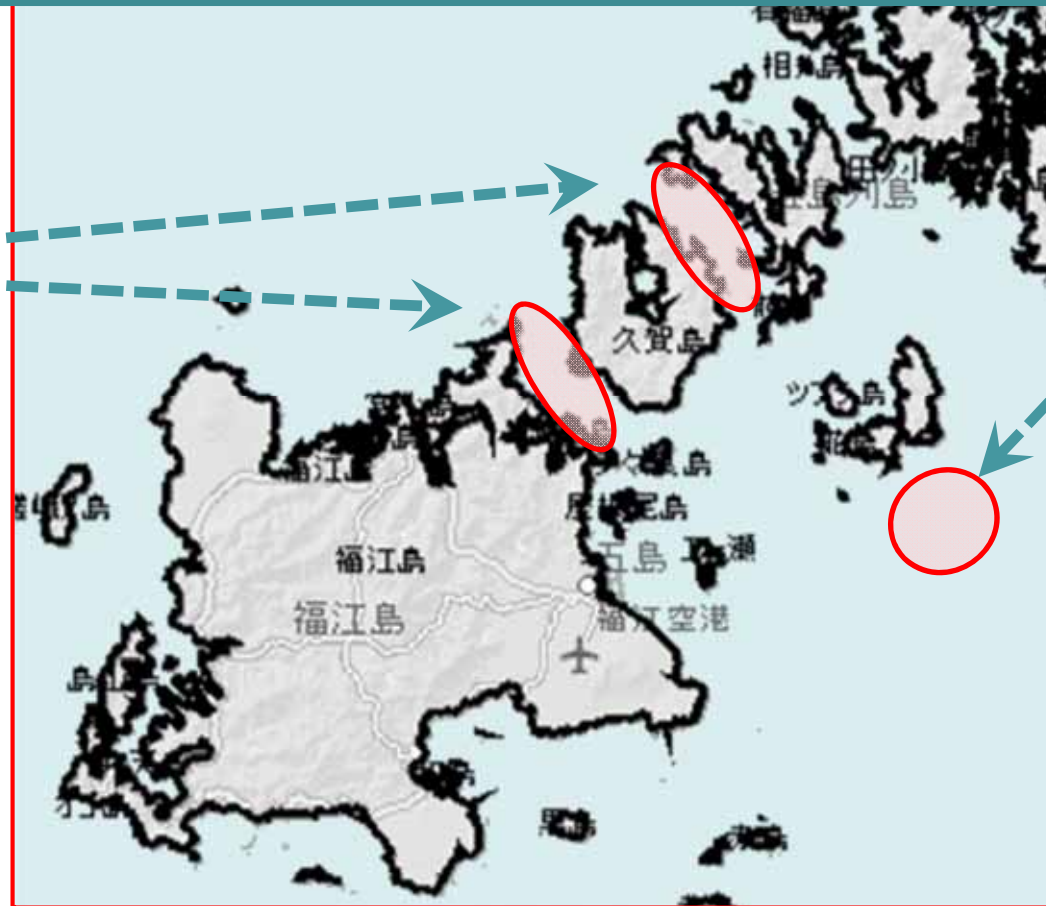
現在、NEDO事業として、玄界灘において三井海洋科学が実証事業を実施予定であり、それと連携して実証フィールドを整備したいとの意向。

長崎県の提案海域



潮流発電 (川崎重工業)

平成26年度から、環境省が五島列島で潮流発電の実証事業を開始予定であり、それと連携して実証フィールドを整備したいとの意向。



浮体式 洋上風力 (環境省)

現在、杵島沖で環境省が実証事業を実施中であり、その跡地を実証フィールドとして活用したいとの意向。

